

2022 第2回関西学連長距離強化記録会

開催日：2022年9月29日(木)

場所：ペイコム陸上競技場

種目	名前	学年	記録	着順	備考
5000m	矢尾 桃子	4年	16分46秒17	1組5着 (42名中)	
	山岸 みなみ	3年	16分57秒33	1組7着 (42名中)	
	三輪 南菜子	2年	17分01秒17	1組9着 (42名中)	
	札幌 美桜	1年	17分06秒17	1組11着 (42名中)	自己記録 17分43秒23を更新
	海沼 由佳	4年	17分29秒48	2組1着 (11名中)	自己記録 17分37秒97を更新
	清水 萌楓	3年	17分40秒70	1組29着 (42名中)	
	友江 奈穂子	3年	17分42秒38	2組3着 (11名中)	自己記録 18分18秒48を更新
	橋本 萌	4年	18分02秒07	2組5着 (11名中)	
	水川 陽香留	1年	18分03秒59	1組34着 (42名中)	初レース
	白波瀬 千紘	4年	18分07秒95	2組7着 (11名中)	
	小椋 美洸	3年	18分14秒98	2組8着 (11名中)	自己記録 18分17秒52を更新

【山本コメント】

関西学連が主催する競技会に、本学から11名の学生が出場した。本大会は、全日本大学女子駅伝において今年から始まったアディショナルタイム枠の選出条件に関わって、5000m記録の期限最後の機会として設定された大会である。その枠での出場を目指す大学を中心に多くの学生選手が出場し、互いに競い合いながら鼓舞しあって、記録の更新を目指した。日没後のスタートで、気温は高くなく風は穏やかで、5000mはよいコンディションの中でレースは行われた。

本学チームとしては、4人が自己記録を更新でき一定の成果があったが、チームの総合力としてみるとあともう一段、二段挙げていきたいと感じる状況だった。秋シーズンはまだ始まったばかりなので、レース内容を振り返り、レースに向けた準備内容を振り返り、課題を明確にして次の目標に向けて準備を進めてほしい。

チームとしては、1ヶ月後の全日本大学女子駅伝に向けてチームの総合力を仕上げていって、貴重な全日本の舞台では他大学と真剣勝負をして切磋琢磨できることを期待したい。